

今週は ワタシ やってます!

まちづくり参加者に聞く「やって良かった!」

聞かせて
地域の元気モン

探検隊が
体験たい!

What's
まちづくり



毎年、町内外から多くの見物客が訪れる川尻の精霊流し。灯籠のほのかな明かりが川面を照らし、幻想的な雰囲気



地域活動を通じて
自分や家族の顔を
覚えてもらいたいです!

川尻精霊流しの準備に携わった
森川 貴史さん(43)
川尻小PTA(愛育会)副会長

PROFILE 現在の住まいは西区ですが、奥さまが経営する店が川尻にあることから、娘・愛子ちゃんも川尻小に通学。会社員として勤める傍ら、土日や祝日を利用してPTA活動などにも参加。



家族そろって精霊流しの準備作業に参加するなど、「地域愛」に満ちた森川さん一家。ゆくゆくは住まいも川尻に移す予定です

自ら関わることで 地域とのつながりも

私を含め、30〜40代は仕事も家庭も大変なので、「これ以上、きついことや面倒なことには関わりたくない」というのが正直なところだと思います。しかし、森川さんは自分から積極的に地域と関わることで自分や家族の顔を地域に知ってもらうきっかけになればと、ポジティブに捉えているのが素晴らしいですね! 私も、地域の中で何か自分にできることを探してみようと思います。

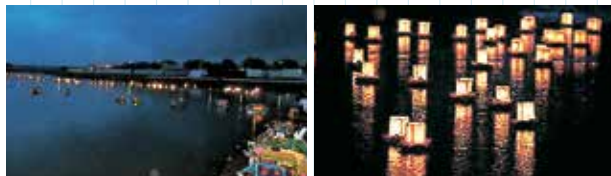
ワタシが話を聞きました!



探検隊メンバー
徳永 裕介さん(37)

川尻の精霊流し・花火大会

- 日時/8月15日(水)
精霊流し) 19時〜20時、花火大会20時〜21時※小雨決行
- 会場/本部) 加勢川左岸、精霊流し) 加勢川橋〜新町橋間
- 精霊流し受け付け/当日17時〜19時
(受け付けは本部にて。受け付け時に流し料[灯籠の回収清掃費]が必要になります)
- 問い合わせ/川尻精霊流し花火大会実行委員会 ☎096(358)6892
※駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください



伝統行事に世代を超えて取り組んだことで より一層、地域への愛着が湧きました!

地 域の伝統行事として親しまれている南区川尻の精霊流し花火大会。例年、校区の自治会のメンバーを中心に、ダンボールを切り、約2千個の灯籠の台座作りを行っていました。しかし、自治会の高齢化などで作業の負担が増し、行事の開催自体も危ぶまれていました。

そんな中、今年川尻小PTAやおやじの会など、地域の各団体の代表が参加する検討部会を立ち上げ、校区一丸で取り組むことに。初めて準備に関わった森川貴史さんに話を聞きました。

昨年までは準備の大半を自治会の方で行っていたと聞きました。が、長年続く地域の伝統行事を大切に思う気持ちに年齢は関係ありません。今回のように、これまで家族で「見に行くだけ」だった地域の行事に初めて関わって、世代を超えて取り組めたことで、また一段と地域への愛着が湧きました!

私たち30〜40代の中には、「地域のために何か役に立ちたい」という気持ちはあっても、「時間がない」「自分には無理」と思っている人も少なくないと思います。私は、仕事が休みの土日など、「無理なくできる範囲」でPTAや地域の活動に参加するようにしています。そうして少しでも地域とのつながりをつくっておけば、皆さんに顔を覚えてもらえるし、それが後々自分にとっての財産になる時がくるはずですよ。



老若男女問わず約50人が参加して行われた作業。例年2週間近くかかるのが、午前中いっぱいでは終了!



作業には奥さまと娘さんも参加。家族総出で地域行事の準備に取り組み充実した一日を送りました

ワタシ
こんなこと
しました!



大きなダンボールを扱うのは、想像以上に重労働。「この枚数を自治会の皆さんだけでやっていたと思うと大変ですね…」

地域行事やその準備が若手との交流の場にも

今回、実行委員会からの呼び掛けに、多くの地域の若手が応えてくれてうれしく思います。作業が早く進み頼もしいだけでなく、こうした機会に地域のベテランと若手の交流も図れるのではないかと思います。ボランティアで地域に貢献する活動はとても気持ちのよいものなので、今後も仕事のストレス発散も兼ねて参加してほしいですね(笑)。

川尻校区10町内自治会長
(精霊流し部会長)
米満吉重さん



川尻校区自治協議会長
玉眞勇一さん

頼りにしてるばい!

「まちづくり探検隊」は、すばいすウェブサイトでも見られます。ご感想や意見はウェブのフォームから受け付け中! ウェブページへのアクセスはコチラ!

PR お問い合わせ 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月〜金曜8:30〜17:15) chiikiseisakuka@city.kumamoto.lg.jp

